

令和元年度 美しい“ふじのくに” まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価 県民意見への対応について

1 意見募集期間

令和元年8月26日（月）から令和元年9月20日（金）まで

2 意見提出状況

1人の方から5件の御意見をいただいた。

戦略1 「命」を守り、日本一「安全・安心」な県土を築く

<意見なし>

戦略2 誰もが活躍できる、安定した雇用を創出する

意見	意見への対応
転出した若者が就職時に出身地に戻らなかった理由は「やってみたい仕事なかった」とのアンケート結果がある。若者がやってみたくない仕事がないのであれば、つくることが必要であるし、仕事がないということが若者の思い込みであれば、思い込みを直していくことが必要である。	本県の製造品出荷額は全国第4位であり、県内には優れた技術を持つ企業が多数存在しております。 県では、大学生を対象とした「魅力発見相談会」の開催や高校等卒業生への「ふじのくにパスポート」の配付により、県内で活躍する若者の姿を、県内外の大学生に広く周知し、県内企業で働く魅力をアピールするとともに、地域資源を活かした新たなサービス産業の振興や成長産業の育成など、新たな産業の振興や創出にも取り組んで参ります。
年金以外に2千万円の貯蓄が必要との報道があり、元気な高齢者は働いて収入を得ることも必要と感じている。元気な高齢者が色々な形で働き続けることができる社会を作っていくことが必要である。	元気な高齢者が色々な形で働き続けることができるよう、企業における仕事の見直しや、求人開拓により高齢者の就業機会の拡大に取り組んで参ります。

戦略3 “ふじのくに” ならではの魅力ある暮らしを提供し、新しい人の流れをつくる

意見	意見への対応
若者の県外転出の理由は、大学進学が多いとのアンケート結果がある。大学進学での県外転出を止めるための対策が必要である。	郷土に対する愛着を持つ人材を育成し、高校生が地域の魅力を再確認し、将来の地域活性化の担い手となるよう取り組んで参ります。 また、県内高校生に県内大学の魅力を伝える機会を増やし、大学と高校との交流を促進していく必要性を認識しており、大学等の教員による高校への出張講座や大学生によるワークショップの実施等、高校生が県内大学の魅力を知る機会を提供し、県内進学・就職の促進を図って参ります。

戦略4 若い世代の結婚、出産、子育て
<意見なし>

戦略5 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する

意見	意見への対応
人手不足に対して、国は外国人の受入を進めており、静岡県においても、外国人は地域のルールを守り、地域は外国人を受け入れる努力をしていく必要があるが、地域でどのように対応したらよいか分からないのが実情である。地域での外国人の受け入れについて対策を進める必要がある。	「外国人県民がコミュニティの一員として受け入れられる環境の整備」を評価書に追記し、外国人県民が主体的に地域社会に参画し、日本人県民と外国人県民が共に活動するための取組を進めて参ります。
外国人をどのように受け入れていけば良いかを地域に説明するなど、地域で外国人を安心して受け入れられるための取組を進めていく必要がある。	また、外国人技能実習生などを受け入れている県内企業の、外国人材と地域との共生に取り組む先進事例の普及を図るなど、外国人材の円滑な受入れと地域との共生を支援し、地域での受け入れ体制の充実を図って参ります。